



## 最先端技術で 未来社会の基盤を創る

総務省国際戦略局技術政策課  
研究推進室課長補佐

**梅城 崇師** UMEKI Takanori

- 平成 19年 4月 総務省採用
- 同 総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課
- 平成 20年 4月 同 総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課  
安全・信頼性対策室
- 平成 21年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課  
企画係長
- 平成 22年 7月 同 総合通信基盤局電波部移動通信課移動体推進係長
- 平成 25年 7月 内閣官房情報セキュリティセンター 主査
- 平成 27年 1月 同 内閣サイバーセキュリティセンター 参事官補佐
- 平成 28年 7月 総務省総合通信基盤局電波部電波政策課電波利用料企画室課長補佐
- 平成 29年 7月 同 情報流通行政局放送技術課課長補佐
- 平成 30年 8月 同 総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課  
番号企画室課長補佐
- 令和 元年 7月 同 サイバーセキュリティ統括官付参事官付参事官補佐
- 令和 3年 7月 現職

### 社会経済を支える情報通信技術

社会のデジタル化が急速に進んでいく中で、情報通信技術は、皆さんが意識することなく使いつつも、社会経済活動にとって欠かすことができない基盤的な技術となっています。

現職では、こうした情報通信技術の次世代を担う最先端技術について、情報通信を専門とする唯一の公的研究機関である情報通信研究機構(NICT)をはじめ、企業や大学とも連携しながら、研究開発支援に取り組んでいます。

取り扱っているのは、Beyond 5G時代を見据えた各種技術開発のほか、インターネット通信量の指数関数的増大に対応する超高速・低消費電力な光伝送技術、機微な情報を盗聴されないよう完全に秘匿化できる量子暗号通信技術、人工知能(AI)による自然言語処理や音声処理技術を活用した多言語自動翻訳技術など、いずれも、今後の我が国の社会経済を支えていくためになくてはならない重要な技術です。

### 自分の走る道が世界の最先端

最先端技術の研究を進めるに当たり、私たちに求められている役割は大きく2つあります。まず、我が国が目指すべき方針や戦略を明確にし、その実現のための具体的な課題を示す道しるべとなること。そして、その課題を解決するために必要な人材・設備・資金・情報を、産学官を問わず結集させるための架け橋となることです。

これらの役割は、世界最先端の研究開発を進めるためになくてはならないもので、非常にやりがいがありますし、自分の仕事ニュースで扱われることもあり、社会的関心の高さも肌で感じています。

### 相互補完できる働き方

ここまで読んで、自分には難しそうだとか身構えましたか?そんな心配は不要です。

情報通信技術は幅広く、日進月歩の世界なので、

知らないことがあるのは当たり前。知らないことを知ろうとしていく姿勢があれば大丈夫です。

そして何より、一人で業務をするわけではありません。わからないことがあれば、同僚や上司に気軽に聞ける雰囲気は総務省にはあります。わからないことは一緒に悩んで考えていきましょう。

情報通信技術を使って、一歩進んだ社会を創っていくため、一緒に働けることを願っています。



### デジタル社会に向けて

皆様は「デジタルトランスフォーメーション(DX)」と聞いて、何を想像されるでしょうか。遠くの人とも簡単にコミュニケーションがとれ、便利なツールによってよりスマートに暮らせる社会。すでに、テレビで最新ニュースが見られ、スマートフォンでどこでも会話でき、オンラインで商品を取り订めるなど、それまでの常識を覆すようなアイデアが次々に実現して日々の暮らしを支えています。

DXが進めば、さらに夢のようなアイデアが、分野を超えて実現していくことが期待されます。それらの基盤となる「情報通信技術(ICT)」は、これからの世界を考えるうえで非常に重要であり、私たちのライフスタイルを大きく変える可能性を秘めています。

### 総務省の役割

総務省では、ICTの開発から普及まで、様々な業務に取り組んでいます。人と人を繋ぐツールがますます重要となる中で、安定した通信環境の整

備を推進するとともに、自動運転や宇宙事業など新たな分野への支援も行っています。情報通信を軸に幅広い仕事に携わることができるのは、総務省の魅力の一つだと思います。

デジタル技術には便利な用途が沢山ある一方、その技術や取得されたデータが誤った使われ方をしないように、きちんとルールを整備する必要があります。総務省の役割は、DXが進む世界で、私たちがより豊かに、安心して暮らせる社会をつくることだと思います。

### 読んでくださった皆様へ

私は今、「2030年頃を見据えた情報通信政策の在り方」の検討チームで、約10年後の未来に向けてやるべきことを考えています。多様なバックグラウンドを持つ有識者の方々のお話を伺いながら、将来を見据えた政策の検討という仕事に関わり、幅広い考えを学ぶことができるのは、国家公務員ならではの楽しみだと思います。

10年後、100年後、世界はどうなっているのでしょうか。どんな世界になって欲しいでしょうか。行政官にとって重要なのは、将来への期待と好奇心ではないかと思います。少しでも興味を持っ

て頂けたなら、ぜひ説明会や官庁訪問に来てみてください。皆様と一緒に未来を考えられる日を楽しみにしています。



## 未来と一緒に 想像してみませんか?

総務省情報流通行政局  
地域通信振興課主査

**植田 史菜** UEDA Fumina

- 平成 29年 4月 総務省採用
- 同 総合通信基盤局電波部移動通信課
- 令和 元年 7月 同 情報流通行政局放送技術課国際係長
- 令和 3年 7月 現職